

麦の穂

「チームの中に歯科衛生士

が加わりました」

当院には、歯科衛生士が平成22年9月より1名、平成23年1月より更に1名が着任しております。歯科衛生士の採用は当院においては初めての試みとなります。

そのきっかけの一つは私自身の経験にありました。私が以前勤務していた病院では、くも膜下出血など高齢の患者様が多く、手術後などに、肺炎などの呼吸器合併症を来たす事が稀ではありませんでした。その予防策として、回診時に私自身が口腔内洗浄などを行ったこともありました。近年、高齢化社会となり、当院においても高齢の患者様の比率が高く呼吸器合併症が稀ならず発症しておりました。一方で、回復期リハビリテーションの医師研修会などに参加すると、回復期リハビリテーション病院などにおいても歯科衛生士の役割が重要視されるようになってきていました。これらのことから、東京の初台リハビリテーション病院などへの見学も実施し、当院にも歯科衛生士を招き入れることとなりました。



歯科衛生士とは一般的には診療補助（治療の補助）、予防処置（フッ素塗布、歯石除去、機械的歯面清掃）、保健指導（歯みがき指導、妊婦・乳幼児の口腔衛生指導）

などの仕事をを行います。しかし、当院においては、脳卒中などの病気や障害を抱えた患者様に対するケアが必要であるため、むし歯・歯周疾患の予防、歯みがき指導などに加えて、麻痺した口腔機能の改善、経口摂取に向けたケア、誤嚥性肺炎の予防などにも急性期より取り組んでいきます。具体的には、患者様の診察、スタッフとの情報交換

などを通して患者様の状態を把握し、患者様一人ひとりに応じた口腔ケアや顔面、唾液腺のマッサージの実施、食形態の検討、義歯や歯科治療に対する助言、歯科医との連携などを行っております。

実際に、歯科衛生士が当院に着任してから、スタッフの口腔ケアへの関心、意識が高まったことはもとより、患者様の口腔内がより清潔に保たれ、肺炎の発症率も減少しております。また、歯科治療が必要な場合に、歯科医に往診を依頼するなど歯科医とのスムーズな連携や早期治療の開始も可能となっております。

今後も、歯科衛生士を含めたチーム医療を提供し、患者様の合併症予防、機能維持・向上に努めてまいりたいと思います。

副院長 鯉川 哲二



新たな DPC 係数 ≪機能評価係数Ⅱ≫への取り組みについて

1. ご存知ですか、医療機関別係数のこと

DPC を導入している病院において、入院費の請求は以下の通りとなります。

◆DPC における総報酬額

＝「診断群分類による包括評価※」＋「出来高評価」＋「入院時食事療養費」

DPC（診断群分類による包括評価※）とは、1 日当たり包括点数に医療機関別係数をかけることで当該病院の包括点数が決定します。

※「診断群分類による包括評価」

＝「診断群分類ごとの 1 日当たりの包括点数」×「医療機関別係数」× 入院日数 × 10 円

医療機関別係数は次の 3 つの係数の合計となります。

係数	内容
機能評価係数Ⅰ	施設基準や看護配置など、病院の機能・体制を評価した点数を係数化
機能評価係数Ⅱ	「データ提出係数」「効率性係数」「複雑性係数」「カバー率係数」「救急医療係数」「地域医療係数」の 6 項目から算出され、医療機能を係数化
調整係数	前年度並み収入を確保するため係数化

2. 機能評価係数Ⅱが持つ意味について

平成 22 年 4 月より「機能評価係数Ⅱ」という新しいルールが導入され、前年の一定期間における診療内容（DPC データ）をもとに厚生労働省が数値を決定するため、新たに登場したこの数値に、医療界の関心が集まっています。

例えば、「カバー率係数」「複雑性係数」においては、カバー率の高い病院は、多様な病気の診療に対応できるだけの人的資源や設備を有していますが、カバー率は低くても、自院が特定の診療領域で重症患者を扱う病院群（専門病院）であれば複雑性は高値になります。このように、自院が有する医療機能が係数化されるため、平均在院日数と相関性が高い「効率性」や上記の「複雑性」「カバー率」の値が低いようであれば、地域において急性期病院として機能しているのか、診療内容の見直しや今後の病院運営の検討も必要となると思われます。

医療機能の「見える化」により一般的に言われていることは、透明な情報をベースにした医療への資源投資に関する検討や、より医療機関の機能分化・医療の質改善へのインセンティブとなる仕組みが構築されて行くとも予測されています。

結果として、機能評価係数Ⅱが大きい病院のほうが高度な医療機能を有するとみなされるため、1 日あたりの診療報酬単価を高く請求することができます。同時に、病院の機能が数字で表されることにより、患者様が「病院を選ぶ時代」が到来しました。「選ばれる病院」となるべく、ますますの質・機能の向上に努めていく必要があります。

3. 平成 23 年度 DPC 機能評価係数Ⅱが厚生労働省より告示

その内容は病院情報局でまとめられ、当院は全国 1,449 の DPC 導入病院中 77 位、広島県内では第 1 位に位置しております。

順位	病 院 名	都道府県	機能評価係数Ⅱ
1	済生会熊本病院	熊本県	0.0389
2	熊本医療センター	熊本県	0.038
3	県立中部病院	沖縄県	0.0372
⋮			
77	荒木脳神経外科病院	広島県	0.0306

4. 今後の取り組み

当院では、今後も開院時より受け継がれる「医療の原点は救急である」という基本方針のもと、脳神経外科としての専門性を軸に地域の脳卒中医療の拠点であり続けたいと考えております。

また、急性期脳卒中治療の成績向上は、自然と機能評価係数Ⅱの上昇に相関するものとも考えております。さらに、安全・安心で質の高い医療を提供しながら、脳神経疾患の検査・手術など、急性期治療は勿論のこと回復期リハビリテーション、さらに訪問リハビリテーションまで一貫した全人的医療の提供の実践に、全職員で取り組んで参ります。

診療情報管理士 渡邊 香代子

★新しい力となる仲間が加わりました！！★

4月より35人というたくさんの新しい職員が入職しました。

そこで、各部署の代表の挨拶をご紹介します。

看護部

今本雅子 光井由貴子 明石一美 糸崎さやか 入船泰子 原田優子

薬剤部

松下永利子

検査部診療放射線科

粟飯原浩子 出海弘章 行田竜司

地域連携室

漆谷恵美

荒木クリニック

正木優美

リハビリテーション部

伊木和磨 石井孝幸 猪村剛史 上野朝子 竹中久美子 長澤由季

逸見房代 町野綾 江角真理子 大中さおり 落合香織 小村裕実子

茶川美沙 中岡真弘 藤原明子 武政麻衣子 宮田知佳

検査部臨床検査工学科

猪丸祐美子 山本恵子

事務部

柳井彩花 三笠真琴

あんしんホーム

岡本大吾

看護部

4月から4階病棟にて勤務させていただきます。笑顔忘れず、元気に患者様と関わっていききたいと思っています。まだまだ未熟な点があるとは思いますが、限界を作らず、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

看護部 明石一美



リハビリテーション部

当院の理念や診療体制に憧れ、4月に入职いたしました。地元の大阪の病院で6年間働いて得た作業療法の技術を更に磨き、少しでも早く皆様のお役に立てるよう、精進いたします。

リハビリテーション部
中岡真弘



検査部診療放射線科

X線撮影やCT検査、MRI検査など機械を扱う仕事をしています。1年目なので機械を扱うのは大変で慣れないことばかりですが笑顔と元気を常に心掛け患者様に安心していただける検査を行いたいと思います。

検査部診療放射線科
出海弘章



検査部臨床検査工学科

4月から臨床検査技師として働いています。自分の目標とする検査技師にはまだ程遠いですが、先輩方のもとで日々学びながら技術の向上に努めています。

検査部臨床検査工学科
猪丸祐美子



事務部医療秘書課

医療秘書として、先生方の業務を少しでも軽減できるように、書類等の作成や医療用語を理解するためにも、日々努力し学んでいきたいです。よろしくお願いします。

事務部医療秘書課
柳井彩花



地域連携室

患者様や家族の方が、より安心して生活が送れるような支援を行うために、知識を身に付け、丁寧な対応を心がけていきたいと思っています。笑顔を大切に頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

地域連携室
漆谷恵美



■ 医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、
全人的な医療と介護を目指します

■ 荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で
地域医療に貢献します
- 一、急性期医療の中核病院として、高機能で質の高い
チーム医療を行います

■ 運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

■ 患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します。
3. 医療に関して知る権利を尊重します。
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。
6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します。
7. 苦情を申し立てる権利を尊重します。

■ 患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表



診察時間 完全予約制

午前 9 時～12 時（受付：午前 11 時 30 分迄）

午後 3 時～6 時（受付：午後 5 時 30 分迄）

○ 救急は 24 時間受け付けております

※1 形成外科 第 2 水曜日（午前中のみ）月 1 回
平本 道昭（大阪府済生会中津病院 形成外科）

※2 消化器内科 土曜日（午前中のみ）月 2 回
井上 正規

脳神経外科

平成 23 年 8 月 1 日～

		月	火	水	木	金	土
午 前	初診（1 診）	谷	山 崎	理事長 荒木	院長 沖	江 本	広 大
	再診（2 診）	院長 沖	院長 沖	江 本	山 崎	谷	谷
午 後	初・再診（1 診）	江 本	谷	広 大	鯉 川	山 崎	広 大

脳神経内科

午 前	4 診				青 木		
-----	-----	--	--	--	-----	--	--

総合診療（内科・外科）

午 前	3 診	野 村	藤 井	野 村	藤 井	野 村	渡 辺
午 後	3 診	渡 辺	渡 辺	渡 辺	野 村	渡 辺	野 村

外科

午 前	4 診	藤 井				藤 井	
午 後	4 診						

脳神経外科・形成外科・消化器内科

午 前	5 診			*1 平 本	理事長 荒木（再）		*2 井 上
-----	-----	--	--	--------	-----------	--	--------

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-272-1114

FAX 082-272-7048

E-mail info@arakihp.jp

ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

TEL 082-527-1123

荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 1-4-201

あんしんプラザ

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

荒木クリニック

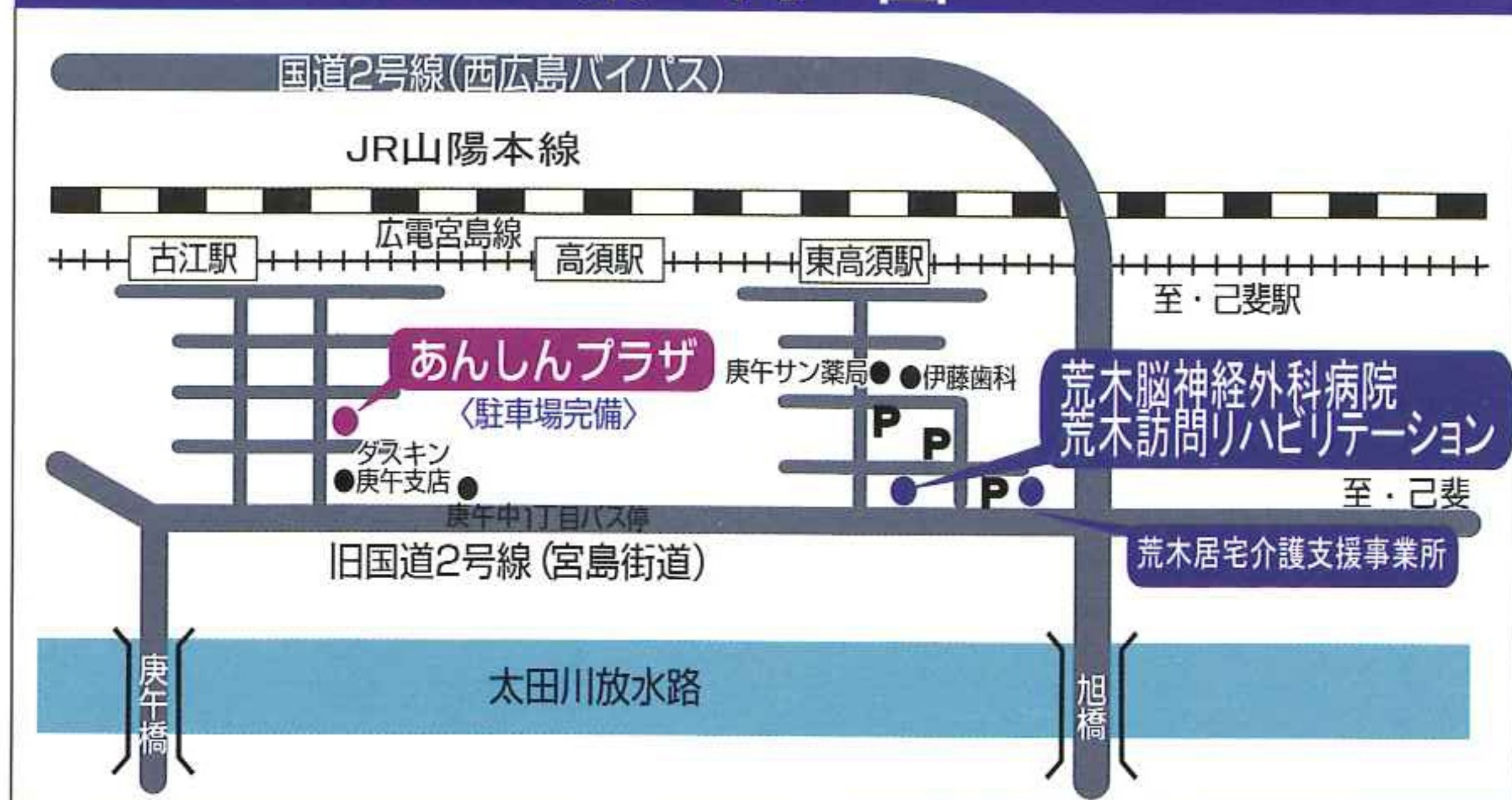
通所リハビリテーション

TEL 082-507-6100

あんしんホーム

（認知症対応型共同生活介護施設） TEL 082-507-6600

案 内 図



お 知 ら せ

7 月 1 日に、開院 25 周年を迎えました。
これからも地域に根差した病院を目指します。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

交 通 案 内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ 100m（宮島街道沿い）

○広島電鉄・宮島線

「東高須」下車 徒歩 3 分

○広島バス 25 号線

「庚午北 2 丁目」バス停前

